

◇お盆について

某大学の教授からある時、「今わたしが生きている意味」について話されたことを思い出します。私が今生きていることは、勿論私の父、私の母なくしては絶対に存在しない。一代さかのぼれば四人の祖父母の存在が必要である。このようにして両親から三十代前までさかのぼれば実に十億六千万余名の先祖さまがおられる（電卓で計算して下さい）し、その人々の血が私一人の血の中に流れている。換言すれば三十代十億人の中での組み合わせの一つでも異なっていれば、今の私は存在しないとの由。「人身受け難し」の重みを感じさせられました。

お盆にはお墓参りが欠かせない仏事となっていますがお墓参りをご縁として、多くの人によって生かされ、護られ、育てられていることを、改めて知らしていただく私の日でありたいと捉えたいです。お仏壇に家中みんなしてお参りしましょう。お盆会を歓喜会ともいいます、

◇聞くこと (1)

浄土真宗は「聞の宗教」とよくいわれ、お聴聞を大切にいたします。聴く（音）を通して聞く（心）のがご聴聞でありましょうが、私達はともすると聴だけで、面白いとか為になった等で（心）を聞き忘れ、自分の問題として捉えられませぬ。親鸞さまは「聞」について特に「本願を聞いて疑心有ること無し」と教示くださいました。不疑とは信じること、立場を転ずることと理解させていただきます。次号身近な事例を入れ、書いてみたいと思っています。

◇今月の安樂寺伝道掲示板

人生に

雨や嵐があつてこそ

生活が

浄められてゆく